

大河津分水路

山地部及び低水路掘削、第二床固改築、野積橋架替等

○事業期間 平成27年度～令和14年度

①大河津分水路「令和の大改修」

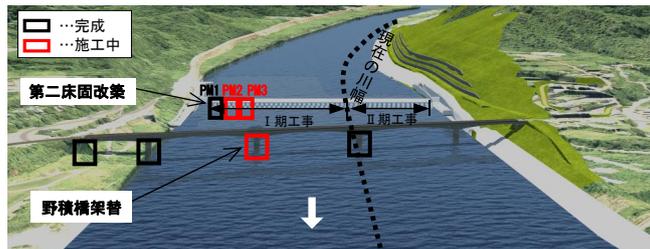
大河津分水路より上流側に位置する信濃川（中流部）や千曲川をはじめ、信濃川水系全体の洪水処理能力を向上させるため、最下流に位置する大河津分水路において「令和の大改修」として平成27年度より着手しています。「令和の大改修」では、課題となっている洪水処理能力向上や河床の安定、老朽化施設の対策として、山地部及び低水路掘削、第二床固改築、野積橋架替等を実施します。



令和3年度は、山地部及び低水路掘削、第二床固改築、野積橋架替等を引き続き推進します。なお、山地部の掘削土は、「大河津分水が“ひらく”地域活性化プロジェクト」として、堤防の強化に活用している他、地域の活性化につながる周辺自治体の事業への有効活用を行っています。また、大河津分水路「令和の大改修」では、効率的・効果的な施工を進めるため、BIM/CIM（Building and Construction Information Modeling/Management）の導入を行っています。



河口付近の工事状況（撮影日：令和3年3月4日）



BIM/CIMによる大河津分水路「令和の大改修」完成予想図（河口より上流を望む）



新第二床固鋼殻ケーソン（PM3）移動作業の状況（撮影日：令和3年3月8日）



山地部掘削の工事状況（撮影日：令和3年3月4日）



低水路掘削（渡部地区）の工事状況（撮影日：令和3年3月4日）



新野積橋（仮称）P3橋脚本体の工事状況（撮影日：令和3年3月4日）